

議会の傍聴にお越し下さい。私達の議会を見て下さい。

No. 13 魚沼市議会の



ひびき

＝ほしのくにこ報告＝
 H.20.2月24日第38回発行
 ☎ 025(792)0712

魚沼市-日市294番地 星野邦子応援団 (http://www.14.plala.or.jp/nikoniko/ 日記更新 E-mail:kuniko-h@apost.plala.or.jp)

傍聴は簡単にできます
 広神庁舎 3階です
 名簿に名前を書いて後ろの傍聴席入口からどうぞ。
事前の予約はいりません
 (途中でも出入りできます。)
 午前10時開会がほとんど。

今年**環境元年**!! 1990年に排出された**温暖化ガス(CO₂)**を基準にして決めた**京都議定書**の実行年となりました。(2008年~2012年の)5年間で日本は**-6%!!**と決めたところが日本全体では 1990年(12.61億トン)→2006年(13.41億トン)と**6%も増加**。その増加の元を探ると「**店舗やオフィス**」(コンビニ、スーパー、チェーン店など流通の)業務が1990年度比で**40%増**、**鉄鋼**や**自動車**業界など「**産業・エネルギー部門**」で**3.5%減**。「**家庭部門**」は?残念ながら**30.7%も増!!** 私たちの家庭から約**30%増**えている!!
 家庭の**エネルギーを3%減**らせれば**京都議定書の-6%に届く**ことができます。
 自分の事として考え、ひとり人が今、できることを始めませんか? **子どもたちの未来のために...**

「**美しい地球と子どもたちに**」の地球環境講演会には**450人**ものお客様からお越し頂き、有難うございました。地球に優しい暮らしは気持ちが良いですね。

- ★**スイッチ付きコンセント**はとても簡単に省エネができますよ~♪
- ★**電球を電球型蛍光灯**に替えると同じ明るさで消費電力が**1/4~1/5**に減り、しかも長寿命ですよ~♪
- ★**マイ箸・マイバック**を持ちましょう。日本の割り箸は97%が中国の材木、**259億膳/年**(木造住宅**2万軒分!!**)
 日本で消費する**レジ袋**約**300億枚**(自動車約80万台のガソリン消費と同じ)
- ★**自転車**を使いましょう(先進国では自転車利用で所得税減税もあり国策となっています)
- ★**生産者の顔が見える新鮮な野菜**を買いましょう(地元のは安全は上に**輸送エネルギー**も少ないのです)

平成19年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所 新潟県魚沼市一日市294番地	氏名 星野 邦子	(受給番号) 10000000014 (フリガナ) ホシノ 邦子 (従業員番号)				
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額			
給与・賞与	4,399,500	0	0	604,995			
控除対象配偶者の有無	配偶者特別控除の額	扶養親族の人数(配偶者を除く)	障害者の数(本人を除く)	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
有				567,975			
(摘要)	住宅借入金等特別控除可能額	国民年金保険料等の金額	配偶者の合計所得	個人年金保険料の金額	旧長期積立保険料の金額		

これだけ皆様の税金から頂きました。(1年分)

魚沼市の財政

HI9.12.7 総務省の示した早期健全化基準の4指標は総てクリアしています
しかし、実質公債負担比率は23.9%で県内下から2番目(最下位は南魚沼市)
25%を超えるとは一般単独の事業の起債(借金)が難しくなり、35%を超えるとは赤字再建団体に。

ゆがらばいのためにH18春に魚沼市財政健全化計画が示されました。

今年、H20年4月からその削減計画が実行に移される年です。

★ 合併後4年目の今年には各地域の均衡を保つ(均等)を目指す方向

4町村はもつ既に廃止済
堀内・守門に残っている2町村も
今年から廃止

例えは 敬老会などへの補助金は旧町村により違いがあり、平成20年度に廃止する。
農林業振興のための特定地区への補助金や特定の集落共同造林補助金など廃止する。
湯之谷地区森林組合活性化活動補助金、旅館組合補助金など削減の方向へ。

★ 民間委託できるものは民間へ → 行政のスリム化を計ることと目的 まかせられるものから...

例えは 老人福祉センターや憩の家、体育館、温泉施設などを指定管理者にまかせ、
河川公園や広場、児童遊園、農村公園、ゲートボール場などを無償管理や地区移譲に。

★ 使用料・手数料などは受益者負担の原則で、(減免規定の基準を統一する)

例えは 温泉施設の料金統一、老福センターなど入浴料金統一、建物賃貸料の統一
体育館・施設などの利用料の統一、
(地域振興センター、ピザセンターなど)

ほとんどの料金があがる中で、守門幼稚園(6100円/月)入広瀬幼稚園(5750円/月)の料金が
他の私立幼稚園(18000円/月)と比較して極端に安い?! という質問が総文委員会であがりました。
学校教育課長答弁: 合併の経過もあり、又国も幼保一元化になっておらず、今後の検討課題。

★ 金利の高い借金を順に低金利に借換える(高い利率の借金は主に下水道事業、約9割占める)

今まで 国が許可しなかった借換えを H19年度から地方財政対策として許可が出たので...
H19は7%以上の利率のもの(5億2800万円)、H20は6%以上のもの(24億8300万円)、H21は5%以上の
利率のもの(19億7600万円)について繰り上げ償還する。例えは $7\% \times 5\text{億}2800\text{万円} = 3696\text{万円の利息/年}$

役所の中も4月から変わる [08.1.15 全員協議会にて] 大枠のみ発表

- 課の新設 — 企業立地推進課と健康増進課を新しく設置。
- 病院局(病院・診療所)、企業局(ガス・水道、下水道課)の再編、新設。
- 有機センター準備室を新設、工事検査室を財政課内に新設、団体室の専任を置く。
- 総合事務所を市民センターとして市民生活課(現在の市民課)に所属。
(小出は市民課へ入る)

3月2日(日)から...

県内初の
新体制!!

「県立小出病院内に魚沼市休日救急診療を開始」

今まで当番医制度で、地元医師会の皆様に休日診療の協力をお願いして行ってきました。しかし救急患者が小出病院内に集中!! 小出病院の医師の過重労働の問題もあり、福祉環境委員会・市・医師会・小出病院 県とで長期に渡り協議を重ねた結果、全国でも珍しい「県立病院で開業医が休日診療(初期救急)」をできることになりました。関係各位に感謝します。知事も「地元の元頑張り」に協力したい」と答えられました。(12月22日女性議員緊急要望の場)

日本の食糧事情 > 日本の食糧自給率39%(カロリーベース)と報道されていますが他の国は穀物ベースで食糧自給率を表しています。日本の穀物ベース自給率は28%です。(食糧=穀物)先進国中最底の自給率の日本が3000万食/日の食べ物を捨てています。もったいないですね。

<臨時議会> H20. 1. 15 「魚沼市地域バイオマス利活用施設整備」

有機センター建設用地取得に賛成の立場で討論! (星野邦子^{一部} 省略)

◎私の家では生ごみを三角コーナーから蓋付きバケツにあげて、その上から米糠をひと握りパラパラとかけておきます。バケツがいっぱいになると土に埋めて堆肥にするので、我家のごみ袋には生ごみは入っていません。

4坪ほどの花壇は、毎年立派な花が育ち、私たちの目を楽しませてくれます。植えていない野菜までなるのですから驚きです。

カボチャやトマト、おくらなどが生ごみの中の種から育ち、立派な無農薬有機野菜として我家の食卓を賑わせてくれます。

◎何年前までは怖さを知らずに化学肥料も使っていました。化学肥料の半分は農薬と同じ作用のあるものが使われています。農薬は土に混じりやすく水に溶けやすいので使われてきましたが、困ったことに健康への被害だけでなく、地球温暖化の原因のひとつと言われる二酸化炭素を沢山出すことが解りました。日本中の農地から出ていることになりました。

更に、化学肥料では撒いた分の栄養は農産物が育ちますが、土に深くもぐって耕してくれる菌がいなくなりますので、菌の排泄する有機質もなくなり土が段々固くなってゆきます。(年配の方に聞いてみましょう~♪)

有機肥料の必要さはこの辺にあるとは思いませんか、皆さん!!

◎これからは農業が主な生産の魚沼市としては、化学肥料や農薬の使用を減らし、有機肥料を推進する立場になります。

チームエコ、-6%を目指す自治体として、経済だけでなく、健康や安全に配慮した農産物の生産を目指す「かじ取り役」としての有機センターを一日も早く完成させるよう願って、賛成の討論とします。

(この臨時議会で、旧堀之内^{ひらね}舟山の用地を買う予算が賛成多数で決定されました)

※化学肥料の多用で野菜に大量の硝酸塩が含まれていることが多い。←

しかし、唾液で代謝され亜硝酸塩にはと毒性が強くなります。野菜の成長には窒素分が

必要!! でも多すぎたりするとタンパク質に変えられず硝酸塩が増え、収量増だが危険も増大。

地元の

(露地もので有機栽培の野菜をおすすめします。)

化学肥料で

硝酸塩はあまり毒性はなく栄養源

星野邦子の一般質問 (H19. 12. 18)

星野邦子: 須原~今泉に至る数神発電所の破間川上流域5.5kmには
流水量の確保を望む声が多い。その一方4月に目的外使用・無許可使用
等で東北電力等も処分の対象と報道され、数神ダムもそこに入っていたが
市は承知していたのか。又、河川管理義務のある国土交通省も近年、
環境の悪化を防ぐため、魚や水棲生物に配慮する政策に方向転換した。
市としても流量を増やし清流を取り戻し環境に配慮する必要があると思うが…。

市長: 最大使用水量を超過した値の適正表示と言記録がなかった事、最大発電
出力の表示も不適切な処理があった事、無許可取水で放水路から機器
冷却水や雑用水に取水の3点と理解している。発電に係る許可は
国の権限で水利権は30年が期間だが国でも10年に短縮を検討中。
今回の事案は市が知り得る手段を有さず、情報はマスコミ報道の範囲のみ。
事項の改善と順守を強く口頭で申し入れた。

星野邦子: 国交省のHPでは当市に係る東北電力・電源開発の8ヶ所が
各々取水停止や10%減量などの処分を受けている。市長は「国や県が
携わっていることばので…」と言われたが地元の市としてはどう理解しているか。

市長: 水利権は国、破間川の管理は県が行っているのて市の関与はない。
又、当時水利権を得る時地域の同意はくしては難しい事だったと思う。
今のこの事案について電力会社からは謝罪があった。

星野邦子: 環境重視へ国も世論も方向転換している昨今、水辺の生物が
住めない川をどう考えてゆくかは市の問題。「上流は下流を思い、
下流は上流に感謝する」というが、資源としての水、環境問題、治水
洪水時の防災など各方面で川はつばがっている。日本の豊かな水資源を支える
中山間地の代名詞「水源の星」という名にふさわしい河川であってほしい。
どのように関わり、つばをゆくのか方向性を示していただきたい。

市長: 豊かな自然と有する魚沼市、貴重な資源の河川や水利を市民の財産と捉え、
水辺環境の保全と水利の有効利用に、国・県と連携し官民協働で知恵を集約。